

## 取扱説明書

### ワイヤレスマイクロホン

品番 **WX-4212C**

工事設計認証品



上手に使って上手に節電

## もくじ

### はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
用語について	3
安全上のご注意	3
使用上のお願い	5
電波法についてお守りください	5
取り扱い上のお願い	5
上手な使いかた	5
各部の名前と働き	6

### 使いかた

周波数設定のしかた	7
乾電池の交換・確認のしかた	8
充電式電池について	9
充電電池パックの入れかた	9
充電のしかた	9
電源表示灯と電池残量表示について	10
パッドスイッチの設定	11
多チャンネル運用について	11
多チャンネル（8～15波）同時使用 対応機種	11
チャンネルの設定	11

### 補足

お買い上げ時の設定について	12
故障かな!?	12
周波数表	14
保証とアフターサービス	15
仕様	裏表紙

はじめに

使いかた

補足

### 保証書別添付

- このたびは、ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（3ページ～4ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## 商品概要

本機は、ボーカー用の800 MHz帯PLLダイナミックワイヤレスマイクロホンです。

- ワイヤレス受信機（WX-4020B, WX-4040B：別売品）と組み合わせて使用することにより、使用電池の残量を受信機に表示させることができます（10ページ参照）。
- 同一空間で最大15波の同時使用が可能です（使用条件など、詳細は11ページ参照）。
- 送信周波数はグループ用、チャンネル用の切替スイッチを操作することにより変更できます。
- 電源は単3形乾電池と、充電電池パック（WX-4451：別売品）による充電式の2通りで使用できます。
- 樹脂ケースには抗菌UVコーティングを施しています。

## 付属品をご確認ください

単3形乾電池 R6P（動作確認用）……………	1個	表示ラベル（グループ・チャンネル・グループ名・15チャンネル）……………	1式
マイクロホンアダプター（PF 1/2）……………	1個	ソフトケース……………	1個
変換ねじ（PF 1/2 → W3/8）……………	1本	取扱説明書（本書）……………	1冊
小型ドライバー……………	1本	保証書……………	1式

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことと被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害
- ⑦故意または偶然の結果、通話内容が第三者に傍受・漏えいすることによる不便・損害・被害  
本商品の無線通話はアナログ方式を採用しており、傍受を抑止する機能はありません。  
故意または偶然の結果、第三者が傍受し、通話内容を知り得ることがあります。

## 用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

### 送信機

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を送信する機器（本機を含む）の総称です。

### 受信機

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を受信する機器の総称です。

### ワイヤレスアンテナ

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を受信するためのアンテナの総称です。WX-4020B、WX-4040Bなどの据置型の受信機では、別途ケーブルを使用して接続されるアンテナを指します。

### PLL（フェーズロックドループ）シンセサイザー方式

自動的に周波数のずれを修正し、安定して信号を送信する方式です。

### グループ

各チャンネルの送信周波数を、使用するチャンネル数に合わせてあらかじめ選択し、組み合わせたものです。使用目的や環境に合わせて選択します。

### チャンネル

同一グループ内で、同時に送信可能な周波数に番号をつけたものです。1チャンネルに1周波数が割り当てられ、本機1台で、1チャンネルの電波の送信が可能です。単に周波数を数えるときは、1波、2波・・・と数えます。

### 多チャンネル



送信機を同時に8個以上使用する設定です。1つのグループで同時に使用できるチャンネルは7つまでのため、多チャンネル使用の場合は、複数のバンドを組み合わせることで多チャンネルのプランを策定する必要があります。設定などについては、本書の「多チャンネル運用について」（11ページ）と受信機の取扱説明書をご覧ください。

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

		この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
		この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

**警告****分解・改造しない****分解禁止**

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

**自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない****禁止**

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**心臓ペースメーカー装着者は使用しない****禁止**

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**航空機内では電源を切る**

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

**異常があるときはすぐ使用をやめる**

煙が出る、においが出るなどそのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに、販売店にご連絡ください。

**心臓ペースメーカー装着者に配慮して、満員電車などの人混みでは電源を切る**

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**医用電気機器に近づけない  
(手術室、集中治療室、CCU\*等には持ち込まない)****禁止**

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- \*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

**屋外で使用のとき雷が鳴り出したら、体から離す**

落雷の原因になります。

- ただちに使用をやめ、体から本機を遠ざけてください。

**乾電池は充電・分解・ショートしない****禁止**

電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因になります。

**注意****電池は極性（プラスとマイナス）を正しく入れる**

間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因になります。

**専用充電電池パック WX-4451以外の充電式電池は使わない****禁止**

万一、内部が破損していた場合、発火の原因になります。

# 使用上のお願い

## 電波法に関してお守りください

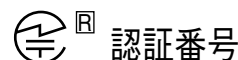
⚠ **警告**、⚠ **注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

### 海外でのご使用

海外で使用しますと各国の法律に違反する場合があります。

### 工事設計認証表示について

本機は、電波法で規定される工事設計認証品です。機器一台一台にその認証番号（認証ラベル：右記記載）が表示されています。みだりに剥がしたり、損傷しないでください。



認証ラベルが剥がれた状態で使用することは法律で禁じられています。

### 違法改造しないでください

本機を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

## 取り扱い上のおお願い

### 取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当たったりしないでください。

### 水は禁物

雨の中での使用や直接水のかかる場所では使用しないでください。故障の原因になります。

### 放置しないで

アンプなどの発熱の多い機器の上や夏の閉め切った車内のような温度、湿度の高いところには放置しないでください。

### 使用温度範囲は0℃～+40℃

+10℃以下になりますと、使用電池の寿命が短くなりますので、動作時間などにご注意ください。

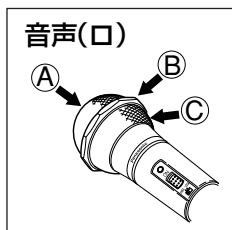
## 上手な使いかた

### マイク部と口との距離

マイク部は口から5 cm～10 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイク部を口に近づけると低音が強調されます。

### マイクロホンの方向性

本機は、単一指向性マイクロホンのため、**①**の方向の音声には感度がよく、**②** **③**の方向は**①**の方向に比べ感度が1/2～1/5になります。よい音質で感度よく使用するためには、音声（口）が前面**①**の方向にくるようにしてください。



### ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしばるか、本機の使用位置を移動してください。

### 強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生することがあります。

### 使用後について

使用後は電源スイッチを切ってください。また、長時間（2週間以上）使用しないときは、電池を取り出してください。

### お手入れについて

電源を切り、乾いた布でふいてください。ひどい汚れは水を少し布につけてふき、最後にからぶきしてください。

ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

### 電波の到達距離

本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約60 m、屋内で約30 mまで離れて使用できます。これ以上離れると使用できません。（上記の距離は、受信機および混合分配器のフィールド選択スイッチが「標準」、アンテナ感度スイッチが「0 dB」の場合）

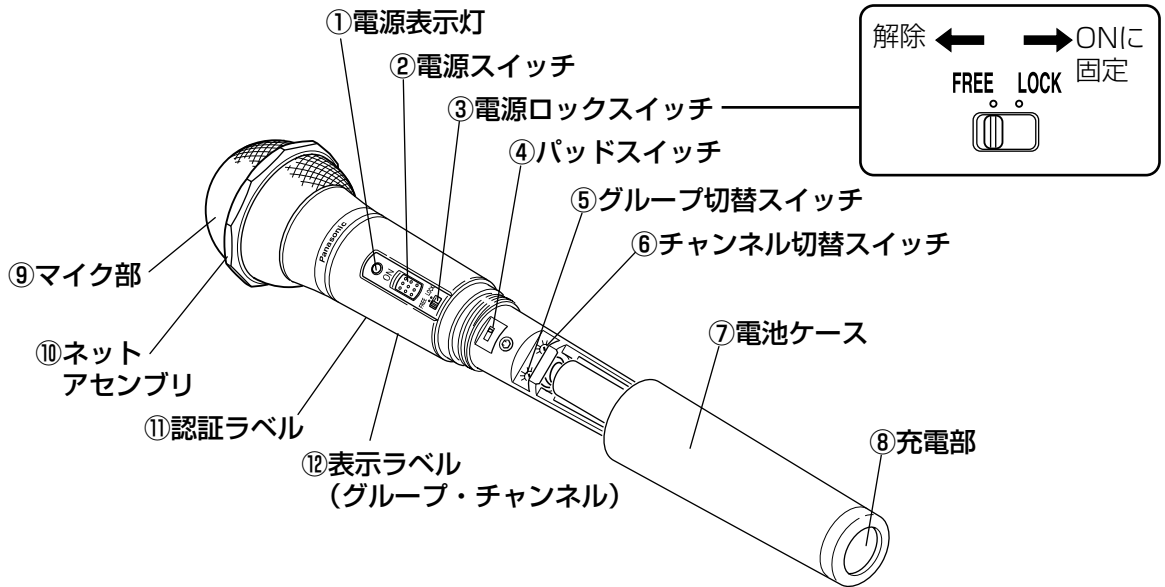
### 雑音が入るときは

本機をワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2 m～10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。

### 本機どうしは、50 cm以上離して使用する

- 本機2本以上を50 cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- 金属などが、使用しているマイク部に接触すると、雑音が発生する場合があります。

# 各部の名前と働き



## ①電源表示灯

本機の電源ON/OFF状態や、本機の電池残量などを表示します。(10ページ)

## ②電源スイッチ

本機の電源をON/OFFします。「ON」表示側にスイッチを動かすと電源はONになります。「ON」表示のない側にスイッチを動かすと電源はOFFになります。

## ③電源ロックスイッチ [FREE/LOCK]

電源スイッチをONの位置に固定することで、使用中に誤って電源スイッチをOFFにしないようにできます。

## ④パッドスイッチ [-12/-6/0]

マイクへ入力する声の大きさに合わせて設定します。(11ページ)

## ⑤グループ切替スイッチ [グループ]

使用する周波数のグループを選択します。(7ページ)

## ⑥チャンネル切替スイッチ [チャンネル]

グループ切替スイッチで選択したグループの中のチャンネルを選択します。(7ページ)

※付属のマイクロホンアダプター (PF1/2)、変換ねじ (PF1/2→W3/8) を使用して、マイクロホンスタンド (別売品) に本機を取り付けることができます。

## ⑦電池ケース

乾電池、充電地パック (別売品) を収納します。(乾電池：8ページ、充電パック：9ページ) 乾電池や充電地パックを出し入れするときや、各種スイッチを操作するときは、この部分をマイク部と逆方向にずらして操作します。(7～9ページ)

## ⑧充電部

## ⑨マイク部

話している声を集音します。(5ページ)

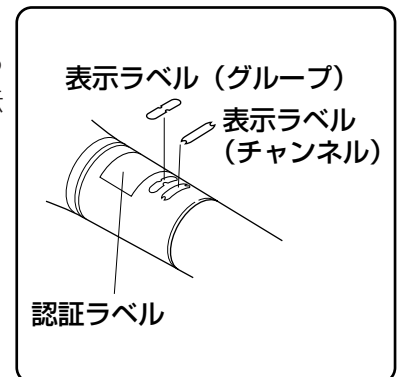
## ⑩ネットアセンブリ

## ⑪認証ラベル

電波法に義務付けられた認証番号を表示しています。(5ページ)

## ⑫表示ラベル (グループ・チャンネル)

使用している周波数を区別するのに便利です。(11ページ)





# 周波数設定のしかた

- 本機と受信機は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するワイヤレスマイクロホンは、グループをすべて同じにし、チャンネルを変えてください（同グループ、異チャンネル）。送信周波数表（14ページ）をご参照ください。

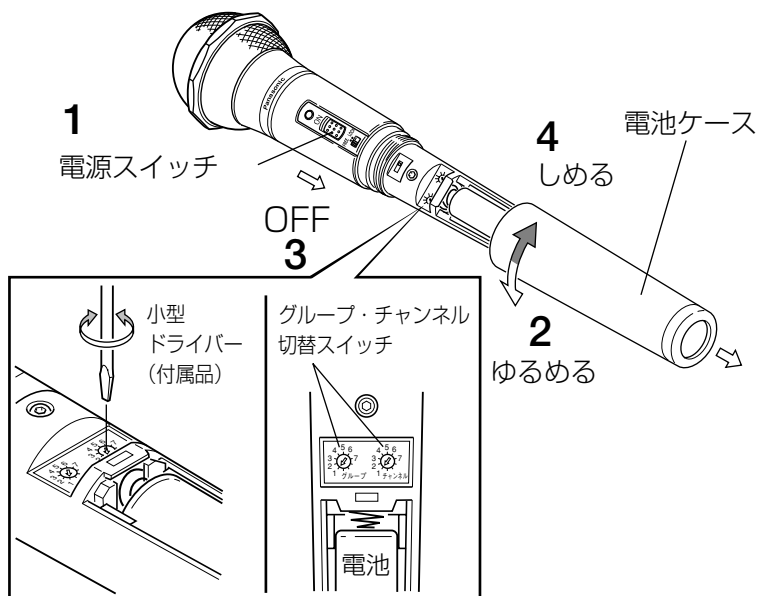
複数のワイヤレスマイクロホンを使用する場合は、下記の「グループについて」をお読みください。

**1** 電源スイッチを「OFF」にします。

**2** 電池ケースを開けます。  
矢印方向（右図参照）にまわし、下にずらします。

**3** グループ・チャンネルを設定します。  
小型ドライバー（付属品）で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。

**4** 電池ケースを元通りにしっかり閉めます。



## グループについて

- 同じ場所で複数のワイヤレスマイクロホンを同時に使用するときは、グループをすべて同じにし、チャンネルを変えて使用します。  
学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとに異なるグループのワイヤレスマイクロホンを割り振ります。
  - ・グループ1～4……最大6波まで。 ・グループ5……5波まで。 ・グループ6……1波まで。
  - ・グループ7 ……7波まで。ただし、隣接した他の部屋では他のワイヤレスマイクロホンは使えません。
- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。  
設定方法については、「多チャンネル運用について」（11ページ）をご参照ください。

### 重 要

- 送信周波数表(14ページ)に無いグループ・チャンネルに設定した場合、また、グループ・チャンネル切替スイッチが数字の位置に設定されていない場合は、電源表示灯が早い点滅をし、送信できません。そのままの状態にしておくと、電池を消耗します。
- 電源スイッチを「OFF」にするときは、受信機やアンプ、ミキサーなどのボリュームをしばってから行ってください。
- 同時に複数の送信機をご使用になる場合は、本機も含めてすべての送信機を同じグループにし、それぞれの送信機をグループの中の違うチャンネルに設定してください。  
また、となり合った125 kHz間隔の周波数は、お互いに影響することがありますので、100 m以内では使用しないでください。
- 「7」グループをご使用になる場合は、送信機間の距離に十分注意してご使用ください。  
詳しくは14ページをお読みください。

# 乾電池の交換・確認のしかた

お願い

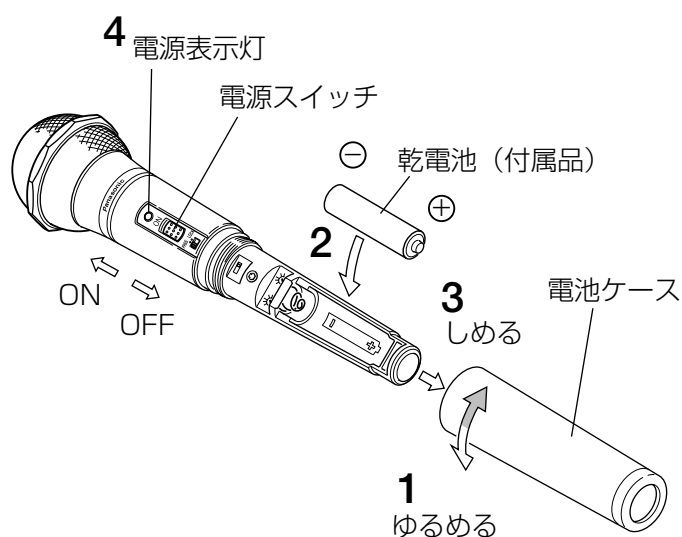
- 乾電池の交換は、必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。
- つぎのような場合は、乾電池が消耗しています。新品の乾電池と交換してください。
  - ・ 電源表示灯が遅い点滅をした場合。
  - ・ 電源表示灯が点灯しない場合。

**1** 電池ケースを開けます。  
矢印方向（右図参照）にまわし、下にずらします。

**2** 乾電池を入れます。  
単3形乾電池 1個（付属品）を入れます。  
表示の極性通りに入れてください。

**3** 電池ケースを元通りにしっかり閉めます。

**4** 乾電池の確認をします。  
電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯が点灯することを確認してください。





# 充電式電池について

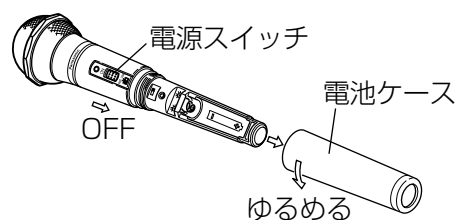
充電式電池は、必ず充電電池パック（WX-4451：別売品）を、充電器はワイヤレスマイク用充電器（WX-4450：別売品）をご使用ください。それぞれの説明書を必ずお読みください。

—お願い—

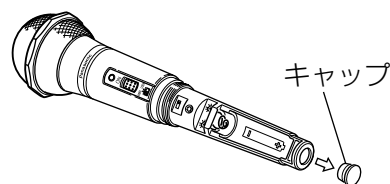
- 必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。
- 初めて使用する場合や、長い間（1か月以上）使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。
- 充電電池パック（WX-4451）の充放電回数は約500回です。これ以上の回数を過ぎた場合や電池が古くなってくると、充放電効率が大幅に低下します。早めに交換してください。

## 充電電池パックの入れかた

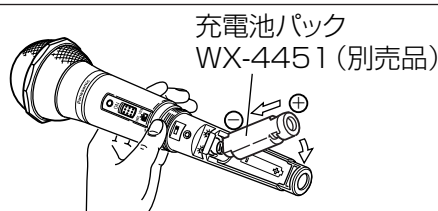
- 1** 電池ケースを開けます。  
矢印方向（右図参照）にまわし、下にずらします。



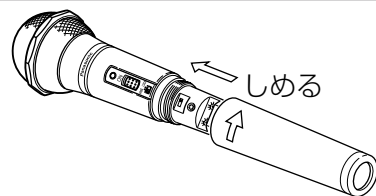
- 2** 充電部のキャップを取り外します。  
乾電池を使用する場合は、このキャップを再び取り付けるため、必ず保管しておいてください。



- 3** 充電電池パック（WX-4451）を入れます。  
充電電池パックをマイク本体のスプリング端子側 ⊖ 側に押しつけてから ⊕ 側を差し込みます。



- 4** 電池ケースを元通りにしっかり閉めます。



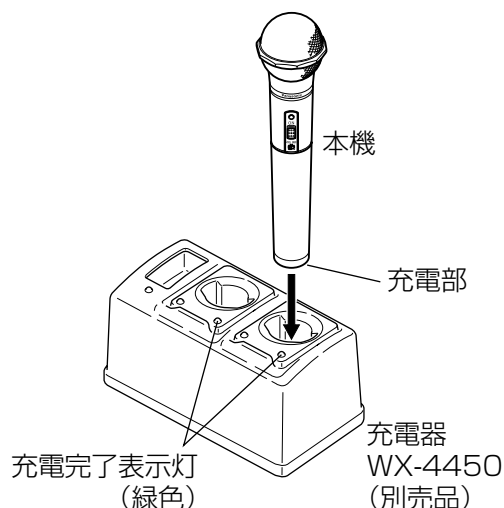
使  
い  
か  
た

## 充電のしかた

充電器（WX-4450）の差し込み口に、充電電池パック装着済み本機の充電部を下にして入れます。

約5時間で充電が完了し、充電完了表示灯（緑色）が点灯します。

- 充電途中で本機を差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますのでご注意ください。
- 充電は、できる限り本機の電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、本機の使用時間が短くなる場合があります。（充電電池パックのメモリー効果）メモリー効果が発生したら、本機の電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。



# 電源表示灯と電池残量表示について

電源ON/OFF状態と電池残量は本機の電源表示灯で確認することができます。

代表的な電池での電源状態と電池残量の目安は以下のとおりです。(常温25℃連続使用時)

マイクの表示	状態	電池残量の目安		
		パナソニック製単3形 マンガン乾電池 R6P使用の場合	パナソニック製単3形 アルカリ乾電池LR6 使用の場合	充電電池パック WX-4451 (別売品) 使用の場合
赤色点灯	使用可能	新品電池にて10時間 以上	新品電池にて25時間 以上	5時間充電で8時間程度
赤色 遅い点滅	電池交換が必要	電池残量が残りに少ない※		
消灯	電源OFFまたは使用不可	電源ONしても点灯しない場合は電池残量がないため、電池交換が必要 (→交換については8ページ)		

またワイヤレス受信機 (WX-4020B, WX-4040B : 別売品) を使用することでマイクの電池残量を受信機側で表示させることができます。

電源スイッチ「ON」後、約10秒で、使用中の電池残量を示すデータが自動的に送信されます。その後、約1分毎にデータが再送信されます。ワイヤレス受信機 (WX-4020B, WX-4040B) の取扱説明書を必ずお読みください。

受信機の表示と本機の電池残量の目安は以下のようになっています。(常温25℃連続使用時)

受信機の表示	状態	電池残量の目安		
		パナソニック製単3形 マンガン乾電池 R6P使用の場合	パナソニック製単3形 アルカリ乾電池LR6 使用の場合	充電電池パック WX-4451 (別売品) 使用の場合
緑色点灯	使用可能	約10時間から約3時間 以上	約25時間から約5時間 以上	5時間充電で8時間程度
橙色点灯		約3時間未満	約5時間未満	
赤色点滅	電池交換が必要	電池残量が残りに少ない※		
消灯	マイク電源 OFF、未受信、 または使用不可	マイクの電源ON、受信状態で点灯しない場合は電池残量がないため、 電池交換が必要 (→交換については8ページ)		

※電池残量が残りに少ない、または電池残量がない場合：乾電池の場合は、新品乾電池と交換してください。充電電池パックの場合は、充電を行ってください。

## メモ

- 電池残量データを検出し表示できるワイヤレス受信機は、WX-4020B, WX-4040Bです。その他の受信機では、電池残量を表示することはできません。
- 受信が途切れると電池残量表示はリセットされますが、再度データを受信すると再点灯します。
- 電池残量 (寿命) は、電池のメーカー・種類・使用時の温度などによって異なります。
- 充電電池パック (WX-4451) を使用した場合、乾電池使用時に比べて使用時間が短くなりますので、受信機の表示が赤色点灯になったら早めに充電してください。

# パッドスイッチの設定

お願い

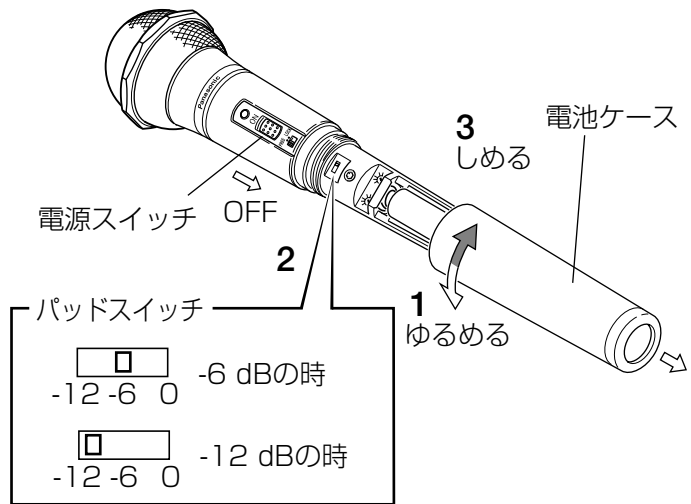
- 必ず電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

**1** 電池ケースを開けます。  
矢印方向（右図参照）にまわし、下にずらしします。

**2** パッドスイッチを設定します。  
ボーカル用などで大きな入力加わり、音がひずむ場合は、-6 dB または-12 dBに切り換えてください。  
(お買い上げ時は0 dBに設定されています)

最大入力音圧の目安

パッドスイッチ	最大入力音圧
0 dB	128 dB SPL
-6 dB	134 dB SPL
-12 dB	140 dB SPL



**3** 電池ケースを元通りにしっかり閉めます。

## 多チャンネル運用について

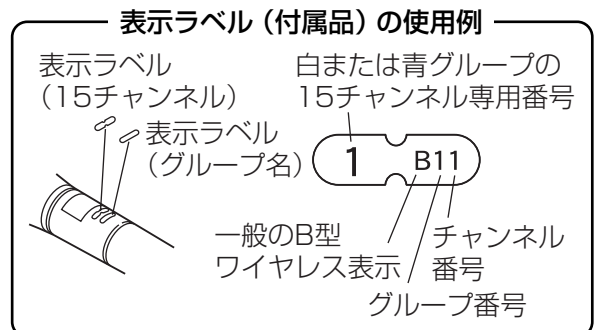
### 多チャンネル（8～15波）同時使用対応機種

以下の15波同時対応機種をご使用ください。(2006年4月現在のものです)

- ・ワイヤレスマイクロホン WX-4212C, WX-4100B, WX-4300B, WX-4360B, WX-4370B, WX-4600, WX-4800
  - ・ワイヤレス送信機 WX-4700
  - ・ワイヤレス受信機 WX-4020B, WX-4040B (WX-D4000Aを含む)
  - ・混合分配器 WX-4910
  - ・ワイヤレスアンテナ WX-4950A, WX-4965, WX-4970
- 15波同時使用時の運用方法は、ワイヤレス受信機 の取扱説明書をご参照ください。

### チャンネルの設定

- 同時に使用するワイヤレスマイクロホン、ワイヤレス送信機は、同グループ(14ページ表の白または青グループ)・異チャンネルにしてください。
- 表示ラベル(付属品)を貼ると、チャンネル区別しやすくなります。表示ラベルは、3つに折りたたんで、ソフトケース(付属品)のポケット部に、小型ドライバー(付属品)と一緒にしておく便利です。



# お買い上げ時の設定について

各種設定をお買い上げ時の状態に戻したい場合は、それぞれの操作スイッチを以下に従って設定してください。なお、設定のしかたはそれぞれの操作の説明のページをお読みください。

スイッチ	設定範囲	お買い上げ時の状態	参照ページ
グループ切替スイッチ	1～7	1	7
チャンネル切替スイッチ	1～7	1	7
パッドスイッチ	0 dB、-6 dB、-10 dB	0 dB	11
電源スイッチ	ON、OFF	ON	6
電源ロックスイッチ	FREE、LOCK	FREE	6

## 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない (電源表示灯が点灯しない)	● 乾電池または充電電池パックは入っていますか？ 乾電池または充電電池パックを入れてください	8, 9
	● 電池が消耗していませんか？ 乾電池の場合は、新しい乾電池と交換してください。 充電電池パックの場合は、充電を行ってください。	8, 9
	● 電池の+と-の向きが間違っていないですか？ 正しい向きに電池を入れてください。	8, 9
電源ランプが点滅して いて使えない	● グループ切替スイッチとチャンネル切替スイッチは、 周波数表で空欄のものを使用していませんか？ グループ切替スイッチとチャンネル切替スイッチの設 定を確認してください。	7, 11, 14 受信機の 取扱説明書

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
受信がまったくされていない（受信機側で音声が出力されない、受信レベル表示が反応しない）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機が送信する周波数と受信機が受信する周波数の設定は合っていますか？ グループ、チャンネルの設定を、周波数表を参照しながら受信機と同じにしてください。受信機側の周波数設定については、受信機の取扱説明書を参照してください。</li> </ul>	7, 11, 14  <b>受信機の取扱説明書</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信機側システムの各機器間は、正しく接続されていますか？ 受信機側システムの接続とケーブルを確認してください。</li> </ul>	<b>受信機側システムの各取扱説明書</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信機側システムの中に、電源がOFFになっている受信機やワイヤレス混合分配器はありませんか？ 運用中は、システムのすべての機器の電源をONにしてください。</li> </ul>	<b>受信機側システムの各取扱説明書</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ切替スイッチ、チャンネル切替スイッチがクリックで止まる位置に設定されていますか？ グループ切替スイッチ、チャンネル切替スイッチの設定を確認してください。</li> </ul>	7
混信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の近くにその他の送信機がありませんか？ その他の送信機とは離してお使いください。</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くでその他のワイヤレスシステムを使用していると、混信する場合があります。 その他のワイヤレスシステムの設定を確認し、使用周波数が重複しないように本システムのグループまたはチャンネルの設定を変更してください。</li> </ul>	7, 11, 14  <b>受信機の取扱説明書</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くに高周波を使う機器や雑音源があると、混信する場合があります。 本機とワイヤレスアンテナの距離を近くにご使用ください。</li> </ul>	—
音が歪む、音大きい、音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パッドスイッチの設定は、入力レベルに合わせていますか？ パッドスイッチの設定を確認してください。</li> </ul>	11
受信機で、電池残量が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池残量表示対応の受信機を使用していますか？ 電池残量表示対応の受信機を使用してください。 ※本機、受信機の電源を入れた直後や、受信状態が悪い場合は、表示されないことがあります。</li> </ul>	10

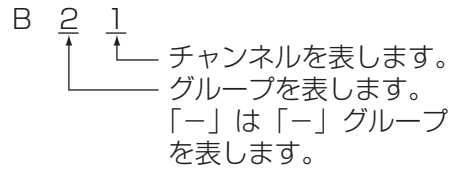
# 周波数表

送信周波数(0.125 MHz間隔、30波)							
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)						チャンネル(下1桁目)
	1	2	3	4	5	6	
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000			B43				
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

※ 7波使用例

## ●周波数表中の記号の読み方

例



- 「1」～「7」グループの各チャンネルは同時に使用することができます。

## メモ

- 15波同時使用の組み合わせは、グループ1～6の中から選定された周波数で構成されています。設定方法については「多チャンネル運用について」(11ページ)をご参照ください。
- B型パナソニックの送信機をラムサの受信機と組み合わせる場合は、ワイヤレス受信機 WX-R822 (別売品) をご使用ください。それ以外の組み合わせでは、B型ラムサとの共用はできません。

## 「7」グループについて

「7」グループは、1～6グループの中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用した場合は、7波の組み合わせが可能になります。

送信機出力	送信機間の距離	ワイヤレスアンテナと送信機の距離
2 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す

## 15波用グループ対比表

15波用 白グループ対比表			15波用 青グループ対比表		
チャンネル	G/CH	周波数(MHz)	チャンネル	G/CH	周波数(MHz)
1	B11	806.125	1	B21	806.250
2	B12	806.375	2	B22	806.500
3	B31	806.625	3	B41	806.750
4	B32	806.875	4	B23	807.000
5	B13	807.125	5	B61	807.250
6	B33	807.375	6	B42	807.500
7	B51	807.625	7	B14	807.750
8	B24	807.875	8	B43	808.000
9	B52	808.125	9	B34	808.250
10	B53	808.375	10	B25	808.500
11	B35	808.625	11	B54	808.750
12	B26	808.875	12	B15	809.000
13	B44	809.125	13	B36	809.250
14	B45	809.375	14	B16	809.500
15	B55	809.625	15	B46	809.750



# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

- ネットアセンブリ（YWA9AA2448B4）

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスマイクロホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。  
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

12ページ～13ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ただちにお買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

製品名	ワイヤレスマイクロホン
品番	WX-4212C
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

補足

# 仕様

トーン信号	32.768 kHz
電波形式	F3E、F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	ダイバシティ受信機 WX-4020Bシステムにて約60 m (屋外) ※1
変調感度	±5 kHz FM (パッド 0 dB、92 dB SPL 1 kHzにて)
使用マイク	単一指向性ダイナミックマイクrohホン
周波数特性	100 Hz～10 kHz (1 kHz基準 50 μs エンファシス)
最大入力音圧	140 dB SPL (パッドスイッチ -12 dB時)
入力等価雑音	34 dB SPL以下 (Aカーブ)
制御方式	トーン信号によるASK
制御信号	電池残量用：3種類
使用電池	単3形マンガン乾電池 R6P ×1個 1.5 V、 単3形アルカリ乾電池 LR6 ×1個 1.5 V または、充電電池パック (WX-4451：別売品)
消費電流	約60 mA (1.5 Vにて)
乾電池寿命	約10時間 (パナソニック製 単3形マンガン乾電池 R6P使用時) ※2 (常温25℃連続使用にて) [約25時間 (パナソニック製 単3形アルカリ乾電池 LR6使用時)]
使用温度範囲	0℃～+40℃
寸法	最大径 φ59 mm 長さ 245 mm
質量	約260 g (乾電池R6P含む)
仕上げ	ガンメタリック調樹脂仕上げ

※1 受信機のフィールド選択スイッチは「標準」、アンテナ感度スイッチ「0 dB」です。

※2 乾電池寿命は、電池のメーカー・種別・使用時の温度によって異なります。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイフ

**0120-878-410** 受付：9時～17時30分 (土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

## 【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WX-4212C
	販売店名	電話 ( )	-			

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号